

授業力向上推進プロジェクト委員会

所属： 岐阜県立加茂高等学校

氏名： 中家 満貴

1 個人テーマ：

「話すこと [やり取り]」及び「書くこと」の領域における指導法及びその評価方法の研究

2 テーマ設定の理由：

本校は、7割以上の生徒が外国籍の生徒であり、英語が公用語であるフィリピン国籍の生徒やブラジル、中国国籍の生徒など多様な生徒が在籍している。また、英語が苦手な生徒も非常に多く、アルファベットの読み書きをはじめとして、中学校レベルの語彙や文法、表現等の習得も不十分な生徒が多い。したがって、生徒間での英語力の差が非常に大きいという特徴がある。これまではインプット中心の授業を展開していたが、今年度からは新たな試みとして、インプットのみならず4技能統合型授業に挑戦することや、「書くこと」に関する観点別学習状況の評価への理解を深めるために、「話すこと [やり取り]」及び「書くこと」の領域における指導法及びその評価方法の研究をテーマにした。

3 研究内容（取組内容）：

Three Things About Me というテーマでエッセイライティングの指導を行った。

授業展開

- ① Brain storming (MetaMoJi で共有)
- ② Useful expressions & Vocabulary 趣味
- ③ Useful expressions & Vocabulary 好きなスポーツ
- ④ Useful expressions & Vocabulary 特別なこと
- ⑤ Writing an essay (1<sup>st</sup> draft) : Three questions : What are your hobbies? What kind of sports do you like? What is something special about you? を膨らませて書く。
- ⑥ Conversation Strategies : 会話を続けていくために必要なつなぎ言葉を学習。
- ⑦ Timed-conversation : 時間制限付きの会話活動。ペアでの会話を MetaMoJi で録音。
- ⑧ Essay : 最終エッセイ作品に取り組む。  
雑誌の切り抜きやカラフルなイラストを添え、エッセイ作品を仕上げる。
- ⑨ エッセイ作品を MetaMoJi で交流。
- ⑩ Timed-conversation で録音した会話をすべて書き起こし、会話を分析する。

4 成果

エッセイライティングを扱った本単元を通して、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「書くこと」の四つの領域をバランス良く指導することができた。また、Useful expressions & Vocabulary で必要な表現を学ぶことによって、英語が苦手な生徒もエッセイライティングを仕上げる事ができた。ICT活用に関しては、エッセイ作品を MetaMoJi で共有することによって、グループのみならず、より多くの生徒にエッセイ作品を共有することができた上、録音機能を使うことによって、自分の会話を書き起こすことができた。

観点別学習状況の評価に関しては、生徒が理解しやすいように、ルーブリックを用いた採点基準で評価を行った。

5 課題

自分が伝えたいことを Useful expressions & Vocabulary だけでは表現することができず、翻訳機能を使う生徒もいた。翻訳機能をどこまで許可するのか検討の必要がある。今年度参観した中学校の授業では、タブレットを使用して英作文を書く活動が行われていた。岐阜大学の仲潔先生より、翻訳機能の使

用を禁止するのではなく、便利なものとしてうまく活用する方法を、授業で模索していくと良いということをご助言いただいた。来年度の指導に生かしていきたい。